

議 会 だ よ り

27 号

2025年(令和7年)
10月15日

首都圏より 下條を応援



(睦沢出身会員)



(陽阜出身会員)

第3回臨時会	2ページ
第3回定例会	2～3ページ
決算説明から	4～5ページ
一般質問	6～7ページ
南部地区議員会総会	8ページ

首都圏下條会	8ページ
長野県町村議会議員研修会	9ページ
阿南高校シンポジウム	9ページ
議長コラム・編集後記	10ページ

第3回 下條村議会臨時会

令和7年7月15日

小松原地区村道51号線防災対策事業村単道路修繕工事請負契約の締結などを審議するため、7月15日に招集し、1日間の会期で行い、審議の結果可決しました。

▼議会議員の辞職

6月30日付けで議長へ提出された塩沢道雄氏の議員辞職願について、議会へ報告されました。

▼報告

○債務負担行為 令和6年度下條村第12メゾンコスモス建設工事請負契約の変更に係る報告について

・令和6年8月の臨時議会で承認し同年8月8日付けで本契約を締結した下條村第12メゾンコスモス建設工事において、工期の変更が生じたため、地方自治法に基づき専決処分とし議会へ報告されました。

内容は、現場西側河川の護岸工事が着工前に施行しなければならなくなり、着工が1ヶ月遅延したことから、工期を令和7年8月31日から同年9月30日に変更したものである。

▼工事請負契約の締結

令和7年度小松原地区村道51号線防災対策事業村単道路修繕工事請負契約の締結について

令和3年度から4年度に実施した主要村道法面点検の結果、当該村道法面は、基礎部の土砂流出、壁及び石積みひび割れの損傷が大きく、本体が沈下し動いていることから補修又は新設の必要があると判断し防災対策工事を実施するものです。

工事の概要は、小松原地区村道51号線、陸沢4388番地26、国道151号接続の起点から130m付近となり、延長37m、法面高3210、9077m、切土補強土工、軽量盛土工、排水構造物工、舗装工及び構造物撤去工を施行します。

7月7日に指名競争入札により落札業者の株式会社パテックと8,800万円で同日仮契約を締結。工期は令和8年3月31日までで、審議の結果可決しました。

令和7年度いきいきらんど下條リハビリプール大規模改修工事請負契約の締結について

完成から24年が経過し、サッシ等の木造部分と天井部分に著しく腐食が進み、建築物定期検査においても改善の指摘事項となつていくいきいきらんど下條リハビリプールの大規模改修を行うもの。

工事の概要は、プールを囲む建具を木製からアルミ建具へ変更し、既存天井の撤去と新設を行うもの。

7月8日に指名競争入札により落札業者の原建設株式会社と6,369万円で同日仮契約を締結。工期は令和7年12月26日までで、審議の結果可決しました。

▼議会常任委員会の委員構成について

○議員辞職に伴い、委員構成を変更する必要があることから、串原稔博議員は総務産建委員会から社会文教委員会へ異動し、田中兼次議員は総務産建委員会と社会文教委員会を兼ねることとした。

第3回 下條村議会定例会

○緊急の防災対策工事費などの増とする補正予算（第2号）可決。

○固定資産評価審査委員の任命に同意。

○令和6年度決算を認める。

会期9月9日から9月18日まで

令和7年第3回定例議会は、9月9日に招集され、18日までの10日間の会期で行われました。

報告が2件、人事案件が1件、条例の改正が5件、補正予算2件、令和6年度決算の認定5件が提出され審議の結果15件を承認／可決し閉会しました。

▼一般質問は、議員4名より

初日に行われた一般質問はP6以降に詳細が掲載されています。

▼報告

○令和6年度下條村財政健全化判断比率等の報告について

・令和6年度の実質赤字比率、連結実質赤字比率ともに黒字、実質公債費比率はマイナス4・3で前年度より0・3ポイント下降したが、引き続き全国でもトップクラスの健全な財政運営が推進されている旨の報告がありました。

○債務負担行為 令和6年度下條村第12メゾンコスモス建設工事請負契約の変更に係る報告について

・令和6年8月の臨時議会にて承認し同年8月8日付けで本契約を締結した下條村第12メゾンコスモス建設工事において、契約金額の変更が生じたため、地方自治法に基づき専決処分とし議会へ報告されました。

主な増工事は、外構工事で擁壁下改良に伴い、水路の布設替え、外灯工事などで7,634,000円の増、主な減工事で浄化槽人槽の変更、柱状セメントの減量などで3,190,000円の減となり差引4,444,000円増額となりました。9月1日付けで、契約額2億7,824万5千円を444万4千円増額し、2億8,268万9千円とする変更へ契約を株式会社ヤマウラ飯田支店と締結した。

▼条例の一部改正

○下條村議会議員及び下條村長の選挙における選挙運動の選挙運動用自動車等の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について
・公職選挙法施行令の一を改正する政令の公布に伴い、選挙運動用ビラの作成単価、選挙ポスターの作成

単価をそれぞれ改正するもので、原案どおり可決した。

○職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

・令和6年8月8日に人事院が行った「公務員人事管理に関する報告」において「仕事と生活の両立支援の拡充」に係る項目について、令和7年10月1日施行の民間労働法制から遅れることのないよう実施することとされており、関連する村条例の一部も改正するもの。

主な内容は、職員より妊娠・出産の申出を受けた際、育児休業制度の周知と意向確認を明文化するもので、原案どおり可決した。

○下條村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

・非常勤消防団員等に係る損害補償の支給等に関する省令及び同省令の一部を改正する省令の一部を改正する件が令和7年6月18日に公布されたことに伴う改正で、損害補償のうち休業補償を行わない場合について追記したもので、原案どおり可決した。

○下條村火入れに関する条例の一部を改正する条例について

・かつて気象庁で発表されていた「異常乾燥注意報」について、頻繁に発表され

る実態に「異常」という表現がそぐわないことから、現状の注意報に合わせた文言へ変更する改正で、原案どおり可決した。

○下條村使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例について

・建設中の第12メゾンコスモスについて、住宅使用料を設定することに伴い改正するもので、第12メゾンコスモスの住宅使用料について、家族世帯用1戸あたり月額40,000円、單身世帯用1戸あたり月額30,000円とし、原案どおり可決した。

▼人事案件

○下條村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

堀尾伸夫委員が9月30日をもって任期満了（3期9年間）となり、勇退の申し出があったため、後任に中村昭博氏（明地原）を選任することに同意しました。任期は、令和7年10月1日から令和10年9月30日までの3年間です。

▼補正予算

○一般会計(第2号補正)

《1億500万円を増額》
総額総額37億3,900万円に

【歳入の主なもの】

地方交付税で5,978万7千円、地域経済循環創造事業交付金、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金で計823万円、地域生活支援事業補助金などで293万7千円など国庫支出金総額で1,190万1千円の増額計上、県支出金で災害復旧費県補助金615万円、緊急防災・減災事業債など村債総額2,570万円を増額。

【歳出の主なもの】

行政システム共同利用料などで1,348万4千円、集会所施設等改修事業費で500万円、いきいきらんど下條プール改修工事とトイレ改修工事などとして1,030万6千円、保育所遊戯室空調設備設置などで2,269万1千円、带状疱疹ワクチン接種委託料で235万1千円などを計上し、事前にその内容の詳細を各課課長より説明を受けたうえで審議に臨み、原案どおり可決しました。

210万7千円とそれぞれ増額。令和6年度決算額の確定として繰越金が2,368万4千円増額

【歳出の主なもの】

地域支援事業費として222万8千円増、介護給付費準備基金積立金1,693万9千円増、前年度実績額の確定による国庫支出金償還金378万8千円の増、支払基金交付金償還金214万5千円の増などを計上。審議のうえ原案どおり可決。

▼令和6年度決算の認定

令和6年度の決算（一般会計及び特別会計3、事業会計1）について、議会では会期中に「決算説明会」を開催し調査・研究を行い、理解を深めました。最終日に質疑応答を行い審議のうえ原案どおり可決しました。

○令和6年度下條村一般会計

歳入…38億5,248万3千円
歳出…34億7,769万5千円
前年度比較で歳入が4・7%の増、歳出が4・4%の増となりました。

○令和6年度下條村国民健康保険特別会計

歳入…2億7,443万3,382円
本算定による保険料54万9千円、前年度実績額の確定により、国庫補助金が66万円、県支出金が

歳出…2億7,416万3,274円
前年度比較で歳入が7・8%減、歳出が6・8%減となりました。

○令和6年度下條村介護保険特別会計

歳入…5億3,707万9,531円
歳出…5億1,339万5,413円
令和6年度下條村後期高齢者保険特別会計

歳入…6,031万3,006円
歳出…6,031万3,006円

○令和6年度下條村簡易水道事業会計

(収益的収入・支出)
収入…1億4,468万9,686円
支出…1億6,202万6,959円
(資本的収入・支出)
収入…5億600万円
支出…5億2,213万5千円

詳細については10月15日発行の広報しもじょうに掲載されますのでそちらをご覧ください。



決算説明会の質疑から



(中学生海外研修事業)

Q 6年度に設置した防犯カメラの設置箇所はどこか。地区での設置は可能か。また墓地公園や観光客等の出入の多い所も必要では。

A 旧粒良脇トンネル横の歩道トンネル山田河内側と親田トンネル親田側の2箇所。地区の総意で設置する際の補助は可能。村では年に2〜3台設置していく方針。
(総務課)

Q 消防減災対策事業で施設改修や設備修繕の内容はどの様か。消火栓の管理点検は十分できているか。

A 消防団の点検結果を受け消火栓の修繕を2箇所、中原地区の防火水槽の修繕を行った。消防団と連携し適正な管理をしている。
(総務課)

Q 移住定住事業でお試し住宅に15組30名の利用とあるがその方々にどの様な対応をしているか、また宿泊日数は。

A 担当者は半日かけて村内を案内する。ヒアリングで就農に興味があれば果樹園地帯、子育て中の方には学校や保育所見学をするなど希望に応じたプランを立て田舎暮らし

体験をしていただいている。3泊位の方が多いが1週間まで宿泊可能。
(総務課)

Q 集落支援員は広報紙に情報掲載など空き家対策等で活動していただいている。地域に精通した方など更なる採用はどうか。

A 課題テーマに沿って解決の為の採用となり報酬は国の特別交付税で補填される。制度上では地域住民を採用する事は可能。

(総務課)

Q 地方特例交付金が増額となっているがどの様なものが含まれているか。

A 定額減税により減となった住民税と住宅借入金等特別税額控除など自治体の減収分が補てんされている。

(総務課)

Q そば栽培面積の内訳はどの様か。そば畑の整備や除草、肥料の研究成果は出ているか。

A 面積は夏そば6ha、秋そば30.8haで合計36.8haとなる。近年20t超の収穫量があり生産者の努力と農協で開発した肥料の成果もある。
(振興課)

Q 緑の募金は地区や民間の要望で資金を使うことが出来るか。

A 募金額により配分が決まる。広報で周知したところ1件の申し込みがあり対応した。

(振興課)

Q 簡易水道事業で恩田井水への管理委託料はいくらか。見直しはどの様か。

A 本年は、年間873万円。5年に1回見直しがある。
(振興課)

Q プラごみの収集日が増えた理由は何か。

A 製品プラをプラごみとして捨てる事が出来る様になった事と地域要望があった為。
(振興課)

(振興課)

Q 子ども第三の場所の村外利用者19人の利用頻度、利用料金はどのくらいか。

A マネージャーが県のコーディネートになっていたり、飯田市、阿南町から受け入れる。単発、一定利用がある。利用料は取らないが、材料費を徴収することはある。

(教育委員会)

Q 小学校人件費が前年より増えている理由は？県費、村費の内訳は？児童・生徒が減っているが、教員数が減らないのは？

A 令5の途中で県費の職員が休職し、村費職員が代替。村費負担が減っていた。6年に戻ったので増額。教員数は県の基準に応じて配置される。

(教育委員会)

Q 中学生の海外研修の参加人数、経費、今後の方針はどうか。

A コロナ禍で5年間中止。春休みに実施。1年生9名(27名中)2年生20名(31名中)参加。費用、家庭負担9万円、28〜29万円村負担。2学年合同には抵抗があるのでは。今年度は春休みの予定。時期については今後検討する。(教育委員会)

Q ファミリーサポートセンターの実績の内容と報酬は？

A 昨年度の利用3件は、仕事や家庭の都合での休日の保育園児の預かり。報酬は1時間800円。利用者は400円負担。提供会員5名、利用会員は年1〜2名ずつ新規に登録している。

(教育委員会)

Q 不登校映画祭に補助金20万円ふると納税基金5万5千円が支払われている。映画祭の評価は。

A 郊外県外からの参加もあり、子ども同士

の交流の場になっている。参加した子どもたちの一つの経験になった。今後は違う形での実施を考えたい。

(教育委員会)

Q 飯田病院フレイル予防事業toto助成金はどうなもの？

A totoビッグやtotoセブンなどスポーツくじの助成金。村では村民グラウンドのLED化やロードレース助成金をもらっている。その助成金でトレーニングマシン購入。(福祉課)

Q 「あたまとかからの健康チェック事業」とはどんなもの？

A 飯田病院の理学療法士と職員が訪問し、説明や認知チェックをする。運動教室に来てほしい方をピックアップして個別に訪問。受益者負担200円。

(福祉課)

Q 種々の運動教室運営するためにどんな努

力をしているか。

A 新しい事業だけでなく、以前からの教室も多い。整理統合など既存の教室を見直しながら新規のものを開催している。

(福祉課)

Q ボランティア育成講座の内容は？地域サロン事業の現状は？支えっこ講座は合休させ、合同開催はできないか？

A 講師に委託して、災害に対する備えなどを学習する機会として支えっこ講座を実施。

実施の内容は、飯田ボランティア協会の計画に要望を出せる。地域サロン事業は、毎週金曜日、午前、午後にミニふれあいサロンを継続中。合

原地区の人たちが管理栄養士の指導で調理活動を行っている。

(福祉課)

Q フレイル予防事業のマシンの開放(水曜

日以外)を検討してほしい。
A セキュリティの問題があり、大規模改修工事が済むまで検討保留。



(フレイル予防事業)

大規模林野火災に対する防災対策について



福沢 敏 議員

Q 遊休荒廃農地は林野火災の延焼拡大の危険性が高いと考える。岩手県大船渡市などの大規模林野火災を踏まえた、農地の防火対策は？

A 従来から日陰地の除去や倒木防止のための農地管理を要請しているが、6年度末の連絡委員会で「延焼防止」という言葉を加えて説明し、村民には「火災予防」も含めた農地管理について文書で周知している。

Q 近年の土手火災や林野火災における消防水利の使用状況、および延焼拡大に対する備えは？

A 過去5年間では消火栓のみを使っている。消火栓以外には防火水槽や自然水利を堰き止めるシート、手動散水器具などを備えており、各分団の小型ポンプは中継により遠距離放水も可能となっている。下伊那生コン協同組合とコンクリートミキサー車による水利供給を要請できる協定を結んでいる。

Q 大規模山林火災の町村境への延焼拡大に備え、隣接市町村と広域連携した消火体制は出来ているか？

A 隣接市町村との相互協力協定として、阿南町・泰阜村との間で阿南地域消防相互応援協定、飯田市・阿智村と隣接する地域において隣接市町村消防機関相互応援がある。協定については年度初めの消防団会議において各分団と確認を行なっている。

地域計画により共有した農業の課題について

Q 地域計画の策定を受け、4月に村内4か所で協議の場があったが、どんな意見がありどんな課題を共有したか。

A 「先のことは想像できない」「後継者がいない」「農地を手放したい」「規模拡大は不可能」など意見があった。地域農業の在り方を考えるきっかけとして、今後も農業委員会を中心に協議の場を重ねていく。



宮嶋成子 議員

村内にスーパーの建設を求める

Q スーパーのない村は、買い物だけでなく、地域コミュニティ、子育て世代の地域社会参加、子どもの地域への愛着、移住定住条件等においても困難や不利が生じると考える。村づくりのために、改めてスーパーの建設を求める。

A 新たなスーパー進出の可能性がないと考え、①暮らしの安心②子育て・高齢者支援③地産地消と地域内の経済循環④移住定住の下支えといった観点を目的に、公設でコミュニティ併設の小規模スーパーに移動販売車・宅配機能等を備えた、民営の多機能型コミュニティスーパーの設置を研究、調査をしていきたいと考えている。

災害対策におけるAEDの役割と訓練について



熊谷美和子 議員

AEDは災害時の救急車の遅れや救命、防災対策に重要な役割を担い、令和4年までに7600人以上の命を救うが、利用率は4%前後と低い。その理由として設置場所の分かりにくさ、使用方法の知識不足、使用へのためらいなどがある。AEDを使用した時の生存率は7倍以上だがAEDを扱える人は3割程度である。今後、AEDの訓練を日常化し、地域の共助を強化するためにも、平時からの訓練が必要と考える。

Q AEDは世界中で一般的に使用され、多くの国で広く普及し、救命処置において重要な役割を果たしている。防災意識が高く活動に積極的な中学校での防災訓練に、AED実習の導入を提案する。

A 音声ガイダンスに従えば多くの方が取り扱いできるので中学生への講習も今後検討していきたい。

Q 地域のイベントへのAEDの貸出しは可能か？

A 役場にスぺア用1台、教育委員会にイベント持ち出し用1台を保有する。

Q AED本体の使用期限、バッテリー、電極パッドの交換、定期点検はどうなっているか。

A 本体耐用年数は6年～8年、電極パッド使用期限は2年程度、バッテリーは4年程度と点検及び更新、交換を行なっている。今般1台の使用期限超過を確認し再配備した。

Q 夜間対応で24時間営業のコンビニエンスストアへのAEDの設置が諸般の事情で見送りとなったようだが、その後検討している代替案はあるか。

A 国の設置率が0.56%、178人に1台、村が0.63%、159人に1台であるので設置数は適当と考える。

【参考】AED村内設置状況は公共施設に9か所、民間施設に11か所、計20か所に確認

学校部活動を地域クラブ活動に移行するために 学校と地域の連携・協働をどう進めるか

県のガイドラインでは令和8年を目途に完了。その後平日はできるところから移行。勤務時間外の部活指導を減らす工夫を検討する。国が地域クラブの運営費補助の枠組みを提示する予定。

Q 村では移行をどう進めてきたか。ここ数年外部指導者を採用してきたが、教員の負担は軽減されたか。生徒の育ちはどうか。

A 地域展開のためカッセイカ会議の文化・スポーツ専門委員会を中心に話し合いを進めている。令和5年に小学校5・6年生対象に、校長先生から説明。昨6年には4・5・6年生対象にアンケート実施。チームとして中体連に出場する場合に必要な監督・コーチの資格取得のため補助予算計上。外部指導者を3部門に採用したことで教員の負担は大きく軽減した。



丸山浩子 議員

Q 他校と合同チームを組むことの成果は。

A 他校の生徒と関わり新しい価値観に触れることで成果ある。

Q 小学生と保護者が中学入学に期待が持てるように早い時期の説明が必要ではないか。

A 現段階ではっきりしている部分は説明の機会を設ける。

Q 人材バンクを立ち上げ、専門の技能や知識のある人を登録し、指導者の層を厚くすること。部活動・クラブ活動に参加していない生徒が参加したくなるような魅力ある多様な活動の機会を望む。

A 移行を行った後、考えていきたいが、生徒数、指導者、活動場所、費用等の問題があり、全ての要望に沿うことは難しい。平成29年まであった人材バンクを復活させたい。

【要望】

平日他校へ練習へ行く場合、親の負担が軽減されるよう送迎を検討してほしい。

下伊那郡南部地区議員会定期総会報告

8月4日



等と共に7年度の議題について各町村より提出され、審議されました。

下條村議会が提出した議題は、南部公共バスの恒久的な存続を求める「地域公共交通対策の推進について」と、白又橋改

良はじめ国道151号線や飯田富山佐久間線の整備促進を求める「南部地域とリニア中央新幹線長野県駅間のアクセス道路整備促進について」の2件で、いずれも昨年より引き続きの提出となりました。

下條村、阿南町、泰阜村、天龍村、売木村の6町村で構成する下伊那郡南部地区議員会の定期総会が、国会議員、県議会議員、県職員の皆様ご出席のもと、コスモホールで開催されました。同会は、南部地区各町村の議員が共に研修・交流を行うとともに、町村をまたぐ課題を解決するため結束して国や県に陳情活動を行うもので、今定期総会では事業報告

議案は12件提出され、道路改良整備のほか、森林の整備・保全にかか



立阿南高校の存続、県立阿南病院の医師確保等について、各町村報告者が壇上で読み上げました。後に厳しい地理的条件、少子高齢化の進展、産業振興の困難等多くの課題を抱える当地区における、命を守る道路整備に必要な予算の確保と、安心安全のための施策について、南部地区が連携し要望していくことを決議しました。

(宮嶋成子)

心につながるふるさと

—首都圏下條会賑やかに—

村のマイクロバスが新宿3丁目のサンパークに到着すると、役員の皆さんが駆けつけて、荷物を運んでくださいました。会場に入ると、懐かしい先輩の顔。すぐに子ども時代に帰って話し込んでしまいました。

今年度は議員全員が参加する番なので、村長はじめ役場職員の代表、監査役総勢17名、

会員60名で、会場がいっぱいになりました。間もなく90歳になられる名誉会長の中島寛

司さん、会長宮島毅さんの、下條村愛にあふれる挨拶に心打たれました。

村の今を語る村長の講話を食い入るように聞く会員。故郷に思いを馳せ、繁栄を願っておられるようでした。

記念講演してくださいる衆議院議員の牧島かれんさんは、おじい様

が小松原出身だということ、今年のお盆に初めてお墓参りに来村されたそうです。鳥獣被害防止用のわな免許、温泉ソムリエ、防災士等の資格を取得するなど、精力的に活躍しているお話を聞きしました。下條村



文化の祭典に首都圏から大勢の方が見に来てくださることを期待します。

これからの村づくりの参考になるお話が聞けました。

テレビ出演など多忙の中、峰竜太さんが参加してください、明るく軽妙な語り口で、会場が盛り上がりました。

下條歌舞伎保存会の福澤利尚さんが参加して、村歌舞伎の宣伝をしてくださいました。

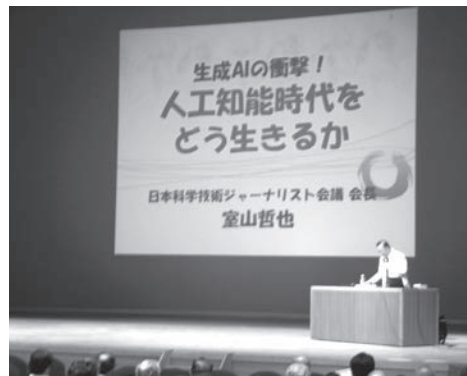
懇親会の司会は、定期的に下條で歌声広場の指導をされている清水厚史さん。澁刺とした進行で楽しい交流会になりました。元気の秘訣は、歌っているからだとのこと。ありがとうございました。

下條会がずっと続くことを願って会場を後にしました。

(丸山浩子)

課題山積、アップグレードと改革

町村議会議員研修会



の進化について講演。若年層と高齢層、都市部と地方部の情報リテラシーの格差をひしひしと感じ、底上げが必要だと思いました。

まず、該当する地域課題はあります。か？の問い

に「買い物する場所がない」、「地元を出たら戻ってこない」、「空き

家、休耕田、一人暮らしの高齢者が増えた」、

「消防団、自治会役員のなり手不足」など殆どが町村の

抱えている問題です。

議論しない首長、議会、今まで

のやり方を

変えられな

い



い職員はいらない。「住民が言ってるから」と問題の本質を探究しない議員では話し合う集団Ⅱ議会にならない。また住民福祉の向上のためには意識や価値観の変化にあわせアップグレードしなければ、選ばれない地域になっていくなど革新をつくり言葉が繰り出されました。

次世代のために過去の慣習を刷新し、持続可能な社会の議論が重要だと感じました。

(熊谷美和子)

阿南高校と地域の発展を考えるシンポジウム開催

8月21日阿南文化会館

全国的な少子化は南部5町村ではより著しく自治体の活力低下や持続性の大きな課題です。地域の高等教育機関である阿南高校は毎年入学者数が減少の一途を辿っており再編対象の危機は続いています。学校存続と地域発展を目指す初の試みとして同窓会主催で関係機関や地域住民に広く呼びかけ200名余が集まり開催されました。

始めに阿南高校の現状を分析した同窓会ワーキンググループ木下長義会長は「高校の存続は地域発展と一体であり、地域住民・行政・教育関係者が一丸で行動すべき」と提言。基調講演は阿南高校と背景が似ていた兵庫県立村岡高校の取組みを

今井典夫教諭が講演されました。村岡高校は生徒数減少に対し、学校の存立は特色化が必要と地域探究教科を2011年に設定し、地域と協働し生徒と住民の学び合いを実践した事で地域の活性化と学校の存立に繋がったと熱弁。パ

を交わしました。阿南高校は今年度、中山間地存立特定校に指定され存立危機は遠のきましたが、引き続き特色ある高校づくりを地域と共に取り組む必要性を共感しました。

(田中兼次)



A group of people are seated at long, light-colored folding tables arranged in a U-shape in a room with traditional Japanese architectural features. On the left, there are large sliding doors (shoji) with a grid pattern. A calligraphy scroll (kakekomi) hangs on the wall above the doors. The participants, mostly men, are facing towards the front of the room. Several green bottles of water are placed on the tables. At the front, two men are seated at a table, and a whiteboard is visible in the background. The room has a warm, wooden interior.

の要望事項については、「毎年行っている地域要望に対して、村がどこまで取り組んで実施されたのか判らない」「子供たちが安心して遊ぶことができる公園整備をして欲しい」「農産物の生産所得向上のために支援の拡充を」「新たな

な特産品の開発について、どのような取組みがされているのか「中学校体育館の冷房使用の基準は決められているのか」等、多くの質問や意見が出されました。

下條村では、村議会議員選挙が五期連続無

投票で選挙が行われて
いません。議会として
も、議会の内容や活動
を理解してもらうため
に、議会だよりの発行
や毎月定例の議員全体
会議を開催し、勉強会
等を行ってきています
が、今回初めて、村民
の意見を直接聞く機会
を持つとうということ
で、議会主催の懇談会
を開催しました。今後

下伊那町村議長会は、7月31日にリニア長野県駅(仮称)周辺の開発構想と工事進捗状況についての現地視察を行いました。

飯田市リニア推進部とJＲ東海長野工務所から工事の状況説明を受け、リニア長野県駅（仮称）周辺広場の視察、豊丘村戸中・壬生沢工区の工事現場視察を行いました。

リニア中央新幹線は、国土の大きな変革

も各地区において懇談会を計画し、村民の声を拾うことに努めるとともに、年々各市町村で増えている無投票・定数割れと、潜在的な手不足が抱える問題についても幅広い議論をしていきたいと考えています。

また、9月9日開会した第3回定例議会初日には、懇談会を開催

をもたらず国家的見地に立つたプロジェクトと位置付けられています。長野県内の路線計画は、全長52・9

kmで、トンネル部48・5km、地上部4・4kmの路線計画で工事が進められています。

下伊那町村議長会として、早期の開業を目指すとともに、南



した親田地区から、多くの皆さんに傍聴に来ていただきました。傍聴された皆さんからは「初めて議場に入ることができて良い経験をしました。これからも、安心して暮らせる住みやすい村づくりのために、村民の声を届けてください」という声が聞かれました。

信州地域の10年後を見据えた計画策定に、引き続き取り組んでいきます。

今年の夏の日本列島は、北から南まで猛烈な暑さで、熱中症警戒アラートが毎日の様に発出されました。9月は、秋雨前線の影響で全国各地に被害が出ています。村民の皆様におかれては秋の収穫期でお忙しい事と存じます。今年の果樹やお米の作柄は如何でしょうか。豊作であることを祈ります。

9月に首相の辞任表明があり、国政の停滞が危惧されましたが、新たな首相のもとで国政が動き出す事を願うばかりです。

9月議会は、主に6年度の決算で村の事業の執行状況について審議しました。議員活動2年目を迎え、予算や決算など理解しつつありますが、先輩議員と力を合わせて議会活動に取り組んで参ります。

(佐々木幸子)

委員長	副委員長	委員	委員	委員
田中兼次	丸山浩子	竹村宗次	熊谷美和子	宮嶋成子
				佐々木幸子